

公益財団法人 資生堂子ども財団  
**2022年度**  
(2022年4月～2023年3月)  
**年間活動レポート**

2023年7月発行

大人がつながれば、子どもの未来を支えられる。



資生堂子ども財団は、「子どもへの支援」「子どもを育む職員への支援」「情報発信・共有」の3つの柱を軸に、社会的養護\*下で暮らす子どもたちを中心に支援しています。→詳しくはこちら

\*社会的養護とは、様々な理由で親と暮らせない子どもたちを、公的責任で保護し、社会的に養育するとともに、養育に困難を抱える家庭への支援を行うことです。



### VISION

すべての子どもが笑顔にあふれ、自分らしく輝く社会へ。



### MISSION

志を共にする仲間とつながり、子どもたちの生きる力を支援する。

→詳しくはこちら

### Message

## 多くのみなさまに支えられ、迎えた設立50周年

2022年度は社会全体が段階的に With コロナに移行し、当財団も数年ぶりに対面で各事業の企画を実施するなど、ポストコロナに向けて前進した1年でした。また、設立50周年記念事業の実施やメディアによる発信強化を通じて、個人・法人のみなさまとの新しい絆も芽生え、活動の幅を広げることができました。改めて子どもたちの未来を支えるために大人が手を取って共に歩むことの重要性を実感いたしました。

今後も「すべての子どもが笑顔にあふれ、自分らしく輝く社会」の実現を目指し、しっかり取り組んでまいります。是非温かいご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

公益財団法人  
資生堂子ども財団

理事長  
塩島 義浩



50<sup>th</sup>  
Anniv.

## 設立50周年記念事業を実施

志を同じくする仲間として、地域の子育てを支える児童家庭支援センターや資生堂グループと協働し、地域で暮らす親子や当財団の奨学生を中心にリフレッシュ体験を届けました。



メイクのプロ×子育てのプロ！異色のコラボで実現

### 児童家庭支援センターコラボレーション企画

【参加者数】 **286**名  
【開催地域】 6地域(北海道、栃木県、神奈川県、滋賀県、岡山県、大分県)  
【協働先】 児童家庭支援センター、資生堂ジャパン株式会社

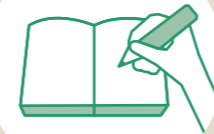


初めて仲間とリアルで過ごす特別な時間  
プロのヘアメイクで大変身！

### 奨学生特別交流会

【開催場所】 株式会社資生堂汐留オフィス  
【協働先】 株式会社資生堂、資生堂クリエイティブ株式会社

設立50周年特設サイトを公開しています。→詳しくはこちら



## 夢の実現を応援する「資生堂子ども財団奨学金」

社会的養護下で暮らす子どもたちを対象とする給付型奨学金です。大学、短大、専門学校に進学する子どもたちに、年50万円を給付します。

2022年度  
在籍奨学生数

**16**名

これまで支援してきた  
奨学生数

**88**名



### 奨学生交流会

新入生歓迎会やクリスマス交流会など、活動報告や気軽なおしゃべりをするオンラインでの交流会を開催しました。



### ぎんご通信

お盆や年末年始などの長期休暇に合わせて、生活の役に立つ情報や食品、日用品を詰め込んだ「ぎんご通信」を送付しています。今年度もさまざまな企業から物品寄附をいただきました。

卒業生Mさんより

この度、多くの方々のご支援により、無事に卒業することができました。大学入学に伴い、金銭面での不安がありましたが、資生堂子ども財団奨学金制度のおかげで友だちと遊ぶことができ、検定や資格にも挑戦することができました。将来は里子や施設で暮らす子どもと関わる仕事に就きたいです。

→詳しくはこちら



## 社会への巣立ちを後押しする「自立支援セミナー」

社会的養護下で暮らす子どもたちの多くは高校卒業後、社会に巣立ち、一人で自立して生きていきます。高校3年生を対象に、自立生活に役立つ社会的知識を専門家から学ぶセミナーと高校卒業を祝う会を開催しました。参加者全員に株式会社 AOKI よりスーツ一式がプレゼントされました。



### スターターズセミナー

2日間コースで、資生堂ジャパン株式会社による身だしなみ講座を始め、着こなし講座、お金の管理・コミュニケーションスキル・性教育などの講座を提供しました。

【参加者数】

132名

【開催地域】

愛知県、茨城県、岐阜県/滋賀県



### 社会への巣立ちフェスティバル

高校卒業と巣立ちをお祝いする会として開催。身だしなみ講座や着こなし講座、プロカメラマンによる写真撮影などのプログラムを実施しました。

【参加者数】

145名

【開催場所】

株式会社資生堂 汐留オフィス

→詳しくはこちら



## 世界の現場を視察する「資生堂児童福祉海外研修」

児童福祉施設の中堅職員に対して、世界各国の児童福祉の状況、特に児童保護や社会的養護のシステムと支援のあり方、児童福祉研究の最新の知識を学ぶ機会を提供。毎年訪問国が変わります。

### 第47回(2022年度)研修

【研修国】

オーストラリア

【研修参加者数】

10名

(団長1名、特別講師1名)

今回の研修では、ニューサウスウェールズ州シドニーを訪れ、児童虐待の予防・教育サービス、子どもと家族への支援提供団体、子どもの回復に加え子どものまわりにいる大人の変化も目指した治療的支援団体などを視察し、オーストラリアが標榜する多文化主義のもとで展開している家族を中心に据えた児童福祉の制度とその具体的実践を学びました。視察先は12カ所でした。

後援：こども家庭庁・全国社会福祉協議会  
協力：子どもの虹情報研修センター

これまでの  
研修参加者数

722名



研修団員の構成：児童養護施設(3名)、母子生活支援施設(1名)、乳児院(1名)、児童自立支援施設(1名)、児童心理治療施設(1名)、児童家庭支援センター(1名)。



保育サービス機関を視察する様子。

第47回 研修団員  
倉成祥子さん(神戸実業学院)より

海外研修での1週間は文化や歴史の差異による支援の在り方の違いを学ぶと同時に、児童福祉の本質は変わらないことを実感する機会となりました。

研修を経て、日々かかわっている子どもたちも抱えている文化や背景、置かれた環境がそれぞれ違うことに目を向け、今まで以上にそれぞれの価値観を大切に支援を心掛けるようになりました。貴重な機会をいただきありがとうございました。

→詳しくはこちら

## Finance 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の決算報告

※百万円単位で四捨五入しています。

### 貸借対照表の要旨

2023年3月31日現在  
単位(百万円)

科目	当年度
<b>I 資産の部</b>	
流動資産	75
固定資産	6,472
資産合計	6,548
<b>II 負債の部</b>	
流動負債	20
固定負債	—
負債合計	20
<b>III 正味財産の部</b>	
指定正味財産	0
一般正味財産	6,528
正味財産合計	6,528
負債及び正味財産合計	6,548

### 正味財産増減計算書の要旨

2022年4月1日から2023年3月31日まで  
単位(百万円)

科目	当年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>		
<b>1. 経常増減の部</b>		
経常収益	125	25
経常費用	124	18
評価損益等	△791	413
当期経常増減額	△791	420
<b>2. 経常外増減の部</b>		
経常外収益	12	△31
経常外費用	15	△8
当期経常外増減額	△3	△23
当期一般正味財産増減額	△794	397
一般正味財産期首残高	7,322	△1,191
一般正味財産期末残高	6,528	△794
<b>II 指定正味財産増減の部</b>		
受取寄付金	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0
指定正味財産期首残高	—	—
指定正味財産期末残高	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	6,528	△794

## 【ご支援いただいた企業・団体のみなさま】 ※アルファベット順で掲載しています。



## 奨学生応援サポーター募集中!

社会的養護下で暮らす子どもたちの大学や短大、専門学校等への進学、自立を支援する「奨学生応援サポーター」を募っています。これは毎月継続的に、奨学金事業にご寄附いただく支援の方法です。奨学生をサポートする私たちの活動は、多くの方々のご支援と温かいお気持ちによって実現しています。

→詳しくはこちら

### 法人概要

【正式名称】 公益財団法人 資生堂子ども財団  
【理事長】 塩島 義浩  
【所在地】 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-5-5  
【設立年月日】 1972年4月8日  
【人員構成】 評議員7名、理事9名、監事2名、職員5名  
【サイトURL】 <https://www.shiseido-zaidan.or.jp>